

下関市立大学広報

2001年6月1日 第34号

発行

下関市立大学広報委員会

山口県下関市大学町2-1-1

TEL 0832(52)0288

FAX 0832(52)8099

<http://www.shimonoseki-cu.ac.jp/>

(題字 中山尊名誉教授)



卒業式



入学式



2000年度卒業式・2001年度入学式・種々の表彰

2001年3月25日、第36回卒業式が挙行政され、経済学部経済学科230名、同国際商学科234名の卒業証書・学位記が授与された。晴れ着姿の卒業生を前に、学長の式辞(2面に要旨を掲載)と市長を始めとする来賓各位からのお祝いのことが述べられ、華やかな式となった。式では、国際商学科4年内海揚君らの赤馬賞を始め、サッカー部など3団体17名の大会出場や資格取得等に対する後援会表彰式も行われた。

4月8日には、経済学科269名と国際商学科257名(内留学生18名)、大学院経済学研究科9名の新入生を迎えて、第40回入学式が挙行政され、学長からは「本当の勉強はこれからです」と激励のメッセージが贈られた。また、研究奨励賞が、長年被害者の支援に関わり続け、訴訟に敗れたもののその闘いの全記録『三西化学農薬被害事件裁判資料集』(華書房刊)の編集に中心的に携わった坂本紘二教授に、また、大学振興賞が、学生との双方向の教育を毎回丹念に実践している前田博司地域論担当非常勤講師に、それぞれ同窓会長から授与された。

韓国東義大学校友好訪問記

来見田隆英

東義大学校朴総長の招待を受け、2月12日～14日の間、学長と共に同校を友好訪問した。

東義大学校は釜山市の丘陵地帯に建つ8学部、学生数1万5千人の巨大私立大学で、よく整備されていた。金理事長、朴総長と友好交流の促進について意見交換したが、大変積極的であった。

東義大学校では、日本の他の大学とも交流をすすめており、本大学としても、交流を著実に実行していかないと忘れられてしまうのではないかと心配である。

今回の訪問では、金理事長以下全ての大学関係者から歓迎され、特に、朴哲済教授には、ご多忙の中3日間つきっきりで親切に案内等をしていただいた。(前事務局長)

青島大日本語科学生が来学

3月18日午前、青島大学日本語科の学生代表団8名が同大外事処の劉琪氏の引率で市大を訪れた。一行はこのたび姉妹大学提携を結んだ宮崎大学を訪問していたが、その日程を終えたあと本学に立ち寄った。本学では下山学長以下の関係教員数名と、今年度の交換留学生に決まった岡雅之君(経済3年)・小田将君(国商2年)らで出迎え、学内の施設を案内した。同一行は、午後、長府庭園、長府毛利邸、長府博物館など市内の景観地区を観光し、翌日、次の訪問地である久留米へ向かった。

楊研究員が学術講演会



青島大学の派遣研究員として昨年10月から本学で研修中の楊永志氏の学術講演会が、1月24日午後、本学学会の主催で学内で行われた。演題は「社会主義市場経済」。

講演は中国語で行われ、山田助教授、留学生の楊乃旭君が通訳した。当日は定期試験直前の授業期間中であつたが、教員、ゼミ・中国語の学生などが多数出席して熱心に聞き入った。なお、この講演の内容は一部修正されて『下関市立大学論集』第45巻第1号(7月発行)に収められる予定。

ソクラテスは何故? ……

—2000年度下関市立大学卒業式学長式辞—

戦後日本の大学式典における学長挨拶として、労働問題研究者たる私の先生の一人であった大河内一男氏の一句、「肥った豚であるより、痩せたソクラテスたれ」が有名だ。私の昨年度式辞「大学から産業へ」(私のHP1—4、『市大広報31号』掲載)、一昨年度式辞「大学—社会—国家」(HP1—3)も話題にはなったが、その話題性は大河内先生のものとはくらべものにならぬ小さい小さいものである。しかし、その有名な大河内さんの台詞の含意はどういうものと理解されてきたのか、またどう理解すべきなのだろうか。

私は長らく、字面どおりの解釈あるいは私がよく使う表現を用いれば「国語辞書的解釈」で、貧乏に甘んじて真実を貫けといった精神訓話かと思ってきた。しかし昨秋に観たNHKテレビでソクラテスの死刑が研究と教育に深くかかわることと知り、それに触発されてプラトンの書き残した「ソクラテスの弁明」などを読み、またENCYCLOPEDIA BRITANNICAのSocratesの項目を検索してみたのである。その学習の結果を以下に記して今年度の卒業式式辞とする。

BC399年、ソクラテスは毒杯を仰いで死についた。アテナイの都市市民による民主制国家の死刑執行である。それは501票中281票の多数決による有罪判決に基づき行われた。ソクラテスが訴えられた理由は二つ、一つは「天上地下のことを探究し、弱論を強弁するなど、いらざるふるまいをなし」たこと、あるいは「国家の認める神々を認めず、別の新しい鬼神(ダイモン)のたぐいを祭るがゆえに」である。現代風に表現すれば国家公認の理念とは別の理念をもって、真実と論理を追求したが故にということになる。もう一つの訴点は「同じことを他人にも教えている」あるいは「青年を腐敗させ」「若い者に害を及ぼして」いるということだった。つまり、ソクラテスの研究と教育の行為が、スパルタなど他の都市国家との戦争(ペロポネソス戦争)に敗北して精神荒廃状況にあったアテナイ市民の多数派にとって許し難いものだったのである。

このような国家と研究=教育の対立は、中世ヨーロッパに生まれた大学の今日に至る世界史の中で大学を舞台にしてさらに何度か繰り返されてきた。昭和史の前半、天皇制ファシズムのもとで、何人かの大学教員が大学から追放されたのもその重要な場面である。大河内先生の先生、河合栄治郎も追放された。その際、何人かの弟子は師を追って大学を辞職したのに、大河内氏はそうしなかったことを批判する向きもある。河合の前に、有沢広巳ら労働派の学者の、さらにその前に山田盛太郎ら講座派の学者の大学追放があった。山田は農地改革のブレインとして活躍し、戦後農政の神様とも云われた人である。有沢は石炭合理化などで腕を振るい、戦後通産行政のブレインとして欠かせない人材だった。時代が変われば、昨日の国家が弾圧した理論とその担い手を、今日の国家は重用せねばならなくなるという一つの事例である。戦後の大学史においても講和条約の締結をめぐって時の首相(吉田茂)が東大総長(南原繁)を「曲学阿世の徒」と論難する場面などがあつた。戦時のアカデミーに踏みとどまり続け、戦後は学界の中心軸に存在し続けた大河内は、みずからの眼前で展開されたそうしたドラマを十分に踏まえて「痩せたソクラテスたれ」とあえて唱えたと私は今思う。先生は既に彼岸の人でそのことを確かめる術がないのが残念だ。因みにBRITANNICAの描くソクラテスの風貌は、stout and not tall, with prominent eyes, snub nose, broad nostrils, and wide mouthといった具合である。貧乏ではあつたが、痩せてはいなかったらしい。

日本国憲法23条の謳う国家からの学問の自由は、以上にその一端を示した世界史の発展方向をきちんと踏まえた貴重な権利宣言である。しかるに近年の日本の状況では、国家主義あるいは天皇主義という非科学的理念を、初等中等教育のみならず高等教育の場でも掲げさせようとする力が強まっている。これは、現代日本の企業、経済、そして社会の危機の一結果であろう。諸君と別れてなお大学にいてソクラテス的行為をつづけるべきわれわれ教員が覚悟を新たにすべき局面である。

ところで大学から離れて、いま危機的状況にある企業の世界に加わり、そこで生き抜こうとする場合に、ソクラテスが説いたことはもう無縁のことになるのだろうか。67歳の私がソクラテスその人に関してそうしたように、無知を自覚してそれを知の世界に変えるといった努力はなお続けるべきではないのか。ソクラテスの言葉「ただ金銭を、できるだけ多く自分のものにしたい」というようなことに気をつけていて、恥ずかしくないのか。評判や地位のことは気にしても、思慮と真実には気をつかわず、たましいを、できるだけすぐれたよいものにするように、心を用いることもしないというのは…あるいは「わたしの息のつづくかぎり、わたしにそれができるとき、決して知を愛することを止めない」—これらは、学園を離れる諸君も生涯持ち続けるべき貴重な指針なのではないか。そういう問いかけを諸君に行って、この式辞を閉じたい。

※なお本年度入学式学長式辞は、学友会刊「第40回新入生歓迎オリエンテーションパンフレット」か、学長のホームページ(下関市大からアクセスできます)かをご覧ください。

入 試 状 況

2001年度の入試は、例年通りの推薦、特別選抜(帰国子女、社会人、中国引揚者等子女、外国人留学生)、一般選抜に加えて、新たに定員化された3年次編入学が実施された。志願者数を昨年度と比較すると、推薦、特別選抜はわずかな減少に止まったものの、一般選抜の前期日程が246人、同じく公立大学中期日程が553人、それぞれ大幅に減少した。隔年現象の現れと見ることもできる。前期日程の入学手続率が3年連続で高率を維持していることは特筆に値しよう。大学院には9人の入学者があつた。2001年度入学者の出身高校別人数(留学生を除く)は以下の通りである。

2001年度入試状況

		学科(定員)	志願者	受験者	合格者	入学者	実質倍率
一般選抜	前期日程	経済(50)	325	299	88	75	3.4
		国際商(50)	379	334	88	61	3.8
		公立大学中期日程(旧日程)	経済(125)	1,071	627	303	2.1
		国際商(125)	1,573	917	327	118	2.8
推薦入学	全 国	経済(24)	76	76	24	24	3.2
		国際商(24)	65	64	24	24	2.7
	地 域	経済(36)	48	48	37	37	1.3
		国際商(36)	40	40	36	36	1.1
特別選抜	帰国子女、社会人、中国引揚者等子女	経済(5)	2	2	2	0	—
		国際商(5)	7	7	6	4	—
	外国人留学生	経済(若干名)	28	26	9	4	—
		国際商(若干名)	74	70	25	14	—
編入学	経済学科	経済学科(10)	11	11	7	7	1.6
		国際商学科(10)	12	11	8	7	1.4
	大学院	経済社会システム専攻(5)	7	6	4	4	1.5
		国際ビジネスコミュニケーション専攻(5)	6	6	6	5	1.0

2001年度入学者出身校

(数字は人数、数字のない高校は1人入学)

[北海道] 札幌開成、函館百合学園[岩手] 花巻東[茨城] 水戸第二[栃木] 大田原女子[埼玉] 熊谷女子、大宮、所沢北[東京] 國學院大學久我山、本郷[新潟] 巻、六日町[富山] 高岡西[石川] 羽咋、藤花学園尾山台[福井] 敦賀、武生東、仁愛女子[長野] 野沢北[岐阜] 大垣東、関、加茂2、斐太、鶯谷[愛知] 中村、丹羽、小坂井、豊田南、一宮興道、新川[三重] 桑名、神戸3、津西、上野2[滋賀] 虎姫2[京都] 京都教育大学教育学部附属、嵯峨野、西舞鶴2、加悦谷、塔南、大谷[大阪] 河南、泉陽、天王寺商業、履正社、初芝富田林2[兵庫] 北須磨、神戸商業、明石、加古川東、三木2、龍野、山崎、東播磨、加古川北、網干、三木北、明石城西、宝塚北、姫路飾西[奈良] 一条[和歌山] 那賀、向陽、田辺、新宮、開智[鳥取] 鳥取西、鳥取商業、八頭2、倉吉西2、米子東、米子西2[島根] 安来、松江北2、松江南2、大東、横田、飯南、平田、出雲、大社、江津、浜田2、益田、松江市立女子2、松江東[岡山] 岡山朝日3、岡山操山、岡山大安寺、岡山芳泉、倉敷青陵3、倉敷南2、津山、玉島(県立)、笠岡2、総社、高梁、新見、瀬戸2、勝山、林野、岡山一宮3、倉敷古城池、玉野光南、総社南、就実2[広島] 海田、廿日市3、賀茂、安古市2、呉三津田、尾道東2、尾道北2、三原、三原東、福山誠之館、府中3、三次、舟入4、基町2、祇園北2、安芸南、広陵2、近畿大学附属福山2、近畿大学附属東広島[山口] 宇部工業高専、岩国3、光、下松2、徳山2、防府2、山口4、山口中央2、宇部、宇部中央2、宇部工業、小野田、厚狭5、美祿、田部2、西市、豊浦11、長府11、下関南4、下関第一7、下関中央工業2、下関工業2、豊北4、大津4、萩、萩商業、下関商業13、新南陽、響2、西京2、野田学園3、宇部女子2、香川2、サビエル2、梅光女学院7、早稲4[徳島] 城北、鳴門、脇町2、辻、池田、徳島北[香川] 高松商業、坂出、善通寺第一、高松西、香川県大手前2、尽誠学園[愛媛] 三島4、新居浜東3、新居浜西2、西条2、丹原、今治西、松山西、松山南2、松山北3、松山商業、八幡浜2、宇和島東、松山中央[高知] 須崎[福岡] 築上中部、豊津3、京都3、門司2、門司商業、大里、小倉南2、小倉商業2、小倉2、小倉西3、戸畑3、八幡、八幡南、東筑2、新宮、城南3、久留米2、伝習館、八女2、朝倉2、田川、嘉穂、戸畑商業2、久留米商業、北筑5、小倉東6、中間2、光陵、玄洋、香住丘、早良、慶成、鎮西敬愛、明治学園、九州国際大学附属、九州女子、精華女子、八女学院、東海大学第五[佐賀] 佐賀西、伊万里2、小城2、武雄3、鹿島、白石、龍谷[長崎] 長崎東、長崎南2、長崎北、佐世保北2、佐世保西6、大村3、諫早、口加、五島2、上五島、西陵2、長崎南山、瓊浦[熊本] 済々養、第二2、熊本商業、玉名2、宇土、八代2、人吉、八代南、熊本北2、東稜5、熊本信愛女学院、熊本学園大学付属2、文徳4[大分] 杵築2、別府鶴見丘2、大分上野丘、大分雄城台2、大分東、佐伯鶴崎、森、日田3、中津北2、宇佐、大分南、大分豊府[宮崎] 日向、高鍋、宮崎西、都城商業、宮崎北3、宮崎第一[鹿児島] 鹿児島中央4、加世田2、川内3、出水2、鹿屋7、種子島、大島、武岡台3、鹿児島純心女子、出水中央、鹿児島育英館[沖縄] 球陽4、向陽3、大学入学資格検定2

就 職 状 況

平成12年度就職状況

平成12年度の就職環境は、依然、厳しい状況が続いている。平成13年3月末現在の就職率は、男子86.2%、女子83.7%、全体で85.2%であった。これは前年実績を、男子で9.5%、女子で6.5%、全体で7.7%上回っている。全国的に就職率はやや向上したと伝えられるが厳しい状況は続いている。この様な状況において本学はかなり善戦したといえる(特に女子は健闘)。なお、大学院進学者は開学した本学大学院2名を含め、5名であった。

平成13年度就職(採用)環境

平成13年度は、経済不況にやや回復の兆しがみられるが、

雇用環境は依然厳しい。採用活動の自由化(採用活動期・内定期・採用方法)は一層進展してきている。就職協定廃止5年目となり、採用活動の前倒傾向が一般に強まっているが、ほぼ企業の採用活動方法は学生に周知徹底されてきており、本学学生も活発に活動中である。特色としては、有能な即戦力を求める傾向が強まり、通年・中途採用を実施する企業が増加したことや、新卒採用を含め企業が人材を選別する目は一層厳しくなっている。また、企業概要をHPに載せるだけでなく、エントリーシートの請求やエントリーそのものをネット上で受けつけるなど、インターネットを採用活動に活用している企業が急増している。

平成13年度就職活動計画

① 4年生個人面談

昨年同様、2月14日から4日間、就職委員会の教員が学生(約280名)と個人面談を行い、学生本人の就職希望を聞き、就職アドバイスを実施した。続いて、企業に推薦する学生面接を3～4月にかけて実施した。今年度の4年生は雇用環境の変化に対応し、積極的に活動している学生が多くなった印象を受ける。

② 企業開拓活動

例年より早く11月～3月に、就職委員6名が分担して、優良企業約200社を訪問し、求人依頼などの企業開拓を行い、現在も継続中である。

③ 公務員試験・企業筆記試験対策

第一回公務員ガイダンス(国Ⅱ、地方上級対策)は6月中旬に人事院中国事務局から講師を招き実施予定。また、ビデオ(全51巻)による公務員・企業筆記試験対策講座会員を募集中(対象者全学年/5千円)。就職相談室で希望者の受付を行っている。専門講師による教室での講義(全130コマ)は9月より実施予定。両講座とも積極的に参加することを期待している。また、教員採用試験対策模試を実施して行く。

④ インターネット

今や就職活動に必須のものとなっているインターネット接続PCを就職相談室に4台、学生センター地下電子計算機実習室に120台設置。学生が自由に企業の情報収集、資料請求、セミナー申し込み等に活用できるようにしている。学生個人のメールアドレスは3年生の秋に配布。また、就職相談室のアドレスは、shusyoku@shimonoseki-cu.ac.jpである。

⑤ 各種証明書配布

卒業見込証明書及び成績証明書は4月1日より発行。(各人3部まで。それ以上は教務部窓口へ申請のこと。)

⑥ 個別就職相談

個別就職相談日(月、火、水、金曜日)を設け、就職委員が就職相談室で待機し、相談に応じている。それ以外の日時であっても、教職員が適宜対応している。

平成13年度就職委員会

本年度のメンバーは以下のとおりである。

就 職 委 員 長	川 本 忠 雄	教 授
就 職 副 委 員 長	財 部 忠 夫	教 授
就 職 委 員	道 盛 誠 一	教 授
就 職 委 員	相 原 信 彦	助 教 授
就 職 委 員	佐 藤 隆 助	助 教 授
就 職 委 員	上 倉 一 男	助 教 授
就 職 委 員	正 村 豊	事 務 局 長
就 職 委 員	下 田 薫 次	学 生 部 補 導 係 長
就 職 相 談 室 長	永 田 弘 芳	
就 職 相 談 室 員	堂 下 邦 江	

新任教員挨拶

万物光輝を生ず

大内 俊二



室町・戦国時代の守護大名大内氏が下関に大変縁があることから、私の名前「おおうち」は皆さんに覚えて頂きやすいのではと思っております。

本学に赴任する前は、千葉県にある木更津工業高等専門学校で15歳から20歳位までの学生に数学を教えていました。少人数教育が売り物の学校でしたので学生とは親密に付き合うことができました。一般に、大学では小中高のように教員と学生との距離が近くない傾向がありますが、教育の基本は学生とのコミュニケーションであると思っております。授業でも双方の形態がとれるよう工夫したいと考えております。本年度の担当科目は統計入門・基礎、コンピュータ入門等です。専門は数理統計学です。現在は、推定関数から構成される枢軸統計量に基づいて精度の高い信頼区間を構成することと、手元にあるデータからの復元抽出によりデータを再抽出して統計的推測を行うリサンプリング法の理論的研究に興味があります。

上記の教育研究を充実させるためには研究・教育・校務のバランスをどう取るかが今後の課題になると思っております。市大の学生・教職員の皆様・キャンパス、下関の街並み・人々、新天地は好奇心の旺盛な私にはまさに「万物光輝を生ず」です。皆様どうぞ宜しくお願い致します。

下関にゆかりのあるシュタイナー教育研究者です

衛 藤 吉 則



「教育原理」「教育実習」などを担当させていただきます衛藤吉則と申します。このたび、岡山の新見公立短期大学から本学に赴任して参りました。私は、もともと北九州市の出身で、大学を卒業後、対岸の門司高等学校に数年勤めたこともあり、下関近郊はとても身近に感じておりました。高校の教員時代には、学生たちと「老の山公園」に遠足に行ったり、「長門の海岸」でキャンプをしたり、「川棚の瓦そば」を食べに行ったりしたものです。また、大学時代には、広島から北九州まで歩いて帰省したことがあり、その際、関門海底トンネルをはじめ徒歩で通ったことも思い出されます。

研究の方は、ドイツの思想家ルドルフ・シュタイナーの教育思想を解明し、実践レベルで伝えていくことを課題としています。ほかには、縁あって、江戸時代博多で活躍しました仙厓というお坊さんの研究をしたり、下関市・北九州市にゆかりのある松本清張の研究などもしています。松本清張については、北九州市の小倉域内に「松本清張記念館」ができておりますし、仙厓については門司港のレトロ地区内にある「出光美術館」でよく仙厓展が開かれていますので、ぜひ訪ねてみてください。私が書きました「松本清張氏は、「哲学館事件」(『小説東京帝国大学』)に何をみたのか?」(北九州市立松本清張記念館刊)や、「仙厓」(西日本新聞社刊)も置かれています。今後とも、どうぞよろしくお願い致します。

姉妹都市・下関に来て

韓 衛 華



ちょうど桜の花の鮮やかな季節に、私は青島から海浜都市下関に来ました。中国から異国に来たとはいえ、初めての感じも、孤独な気持ちも少しもありませんでした。というのも、この落ち着いた下関の町にあって、会う人はみな親切で、すばらしく、温かかったからです。下関に来たその日から、市大の先生、職員、多くの友人の心のこもったお世話を受けました。入居、買い物からカリキュラムの説明に至るまで、すべてが秩序立っており、行き届いていました。更には心温かい日本の友人の案内で満開の桜の花見にも行け、日本の人々の生活と文化を知る機会が持てました。下関での1週間の間、毎日のびのびとした気持ちですごせたのは、まわりの人々から助けをもらったおかげだと思っています。

青島市民・青島大学教員として、このような機会に恵まれ、姉妹都市である下関に来て、友好大学である市大に着任できたことをとても嬉しく思います。私のここでの主たる仕事は中国語学習に勤しんでる学生のレベルを向上させることのお手伝いです(実は、下関に来る前、すでに多くの市大生を知っていて、引き続き日本で彼らの中国語学習の手助けができることを喜んでいました)。私は、ここで一生懸命仕事をする中で、更に多くの日本の学生が中国語や中国文化に興味を持ち、中国語をマスターし、彼らと中国の友好交流が実現することを願っています。

退任教員挨拶

一 去 二 十 二 年

内 田 正 弘

私は本学を平成13年3月末、退任しました。そして、博多から電車で15分の東南の山麓に、下関から転居しました。

その際、私に思い浮んだのは与謝蕪村と陶淵明です。青少年のころ、「春の海…」、「帰去来の辞」への関心が根づいていたからでしょう。この俳人・画家と漢詩人は、似た者同志です。私は蕪村で研究室に入り、淵明で引退の心境になりました。新築の庭先の書庫は、ダンボール箱200個以上の書物と資料でうずまいました。研究を始めた当時かと錯覚した気分を味わいました。

私は、20歳前後、長い闘病と浪人の生活経験があります。このマイナスが、いつかプラス要因に転じていたから不思議なことです。人生の要諦を私に示唆してくれた現存作家、1人は金融論の大家、もう1人は医学博士の文章への出会いも、そのひとつ。

私は去年9月、米国イオンド大学から名誉経済学博士号を頂戴した。事由は財政論文や著書が、財政を全面的な視軸から研究し、日本のインテリの弱点を克服しようとした。

私は若い人と同様、まだ夢もあります。私の過去は、無手勝流の二十二年でした。しかし、学生から敬遠もされず、430名以上の財政ゼミナールに私は元気づけられました。

退職の挨拶

鶴 弘 道

下関市立大学に勤務して20年たちました。若い頃、年輩の先生方が、月日がたつのは速いよといっておられた頃、若輩の私はああそうですかくらいに軽く返事していたので

すが、自分がその年になってみると、なるほど全くそのとおりだと実感している次第です。

私が本学に来た当初は、図書館が十分整備されていなくてがっかりしたのですが、その後立派な図書館ができて、そこで沢山の本に接することができ、とても幸せな歳月でした。私の本来の仕事である授業には全力をつくしたつもりですが、こればかりは行けども行けども尽きぬ道ですので、自分なりにやれることはやったと思い自己満足する以外にありません。私は教員免許取得に必要な科目（教育原理、社会科教育法、教育実習など）を担当していましたが、教育実習生が実習校で、指導の先生から、「自分も授業がうまくいったと思えるのは年に何回もないよ」と言って慰めてもらっていて、それを聞いた私は、ベテランの中学校、高校の先生もそうなのだと変に納得したりしていました。もちろん、これは実習生が気落ちしないようにとの配慮から言っておられる言葉ですので顔面どおり受けとってはいけないのですが、それでも授業とはむずかしいものだと思います。大学をとりまく最近の状況は実にきびしいものがあります。市大が独自の色を出しつつ、一層発展することを願っております。

転任にあたって

坂 元 康 成

下関市立大学に赴任して、13年間をこの下関の地で過ごさせてもらいました。本学でのこの10数年は学内外においてまさに急激な変革を遂げた時期でもありました。学術センター、新講義棟、学友・厚生会館、大学院、ナイター、川中豊町・熊野地区の整備、海峡メッセ等々……赴任当時は下駄ばきにちゃんちゃんこ姿の学生がうろつく。のどかな雰囲気の中に、個性的な多くの先生達と、市大らしさを感じたのを覚えています。就職支援組織の充実も合わせて、本学が大学としての体裁を除々に整えつつある中で、27才最年少の私にとっては、すべてが真新しく、この大学全体の気運に乗じて勢いにまかせて、教育・研究また体育会活動のサポートに取り組んできたような気がします。

本学を去るにあたって、何よりも本学のさらなる発展を祈念してやみません。学生諸君も、人生の転機を迎えるこの4年間に、新たな価値観を創造し、より大きな人間の成長を遂げ得よう、すばらしい教員・友との出会いを模索していただきたいと思います。また下関市は2002年ワールドカップのキャンプ地にも名乗りをあげております。スポーツに携わる身として、このことを契機に市民がますますスポーツに対する文化意識を高め、あらゆる面で地域が活性化してくれればと思います。諸先生方、学生諸君、後方支援をして下さる事務局の皆様、OB諸兄のますますの御活躍を祈念いたします。お世話になりました。お元気で。

さようなら、下関

李 曉 蓉

一雨降って、春が私のところへやってきました。空中に花の香りが充満し、桜の季節がまた到来しました。私も1年の任期を順調に終えて、帰国の途につこうとしています。日本での1年間の生活を振り返ると、友情に満ちた日本の友人に対する感謝の念でいっぱいになります。1年間、日本の美しい風景を味わい、日本独特の文化と風俗を知り、高度に発達した科学技術を目の当たりにしました。これらはすべて私の脳裡に美しい、永遠の思い出となってとどまるでしょう。

さようなら、心やさしい友達！

さようなら、美しい下関。

皆様が青島に来られることを心から歓迎いたします。

(2001年3月記)

外国人留学生の増加、73名に

本年度の外国人留学生の総数は昨年より11名増えて、73名(4月現在)になった。学部留学生は1年生が18名、2年生17名、3年生17名(編入学2名を含む)、4年生7名。1年間の交換留学生が7名、同じく1年間滞在の科目等履修生が5名(タイ1名、トルコ1名、中国3名)である。大学院生は2名。写真は交換留学生。



◀ 朴 文秀
パク・モンス
(東義大学校)

陳 悦霞 ▶
チェン・ユエシア
(青島大学)



◀ 孫 逢明
スン・フォンミン
(青島大学)

Robin Shankar ▶
ロビン・シャンカー
(グリフィス大学(豪))



◀ Sally Robertson
サリー・ロバートソン
(クィーンズランド大学(豪))

Victoria Uhr ▶
ビクトリア・ユア
(クィーンズランド大学(豪))



◀ Andrew McIntyre
アンドリュー・マクインタイア
(クィーンズランド大学(豪))

卒論合同発表会 卒業研究の公開を！

道盛 誠一

2月21日は、まっことスリリングで貴重な一日であった。卒業研究の公開を一昨年から呼びかけている。初年度は、参加ゼミ数2、報告数16、聴衆30名強。今年は、4ゼミ20余の報告を60名近い会衆が傾聴し、発問して、盛り上がった。専門演習の中身がゼミによってどれほど豊かな多様性を見せていることか！ 同僚教員が卒業研究指導にどれほど真摯に取り組んでいることか！ 当日朝まで報告原稿の手直しに没頭し、本番では見事なプレゼンテーションをものにした少なからぬ学生の存在も特筆しておきたい。

(金融システム論担当教授)

公費留学合格

中塚 康博

多くの人に支えられ、私はこの度念願であった中国公費留学の試験に合格することができました。しかしこれまでの道のりは決して平坦なものではありませんでした。昨春秋、留学試験前の大事な時期を控えて事故を起こし大怪我をしてしまったときは、正直留学は諦めようと思いました。しかし先生、友人等の励ましもあって、最後まで諦めずにやりぬき、その思いが通じたのか、この吉報を得ることができました。私はこれからも一生懸命勉強し、将来少しでも人々に役に立てることをしたいと思います。

国際商学科4年



ブリュッセル滞在記

丹 下 榮

ブリュッセルで1年間過ごしてきました。彼地で生活するのはほぼ20年ぶり、そのときから変わったところ

も変わらないところもありました。そのなかでいくつか印象に残ったことを書きとめておきます。まず印象的だったのが情報化の進展、最初にコミュニケーションの役場に住民登録に行くと、係のおじさんはキーボードをちょいちょいとたたいて、お前は以前この近くに住んでいたことがあるなどのお言葉。どうやらある時期にベルギーに住んだことがある全外国人の居住記録をコンピュータに入力したもののようです。街中を走っているバスやトラック、さらには各種商店や工事業者の自動車の多くに電話番号と並んでホームページのアドレスが書かれているという光景は、20年前には想像だになかったものでした。

こんな調子ですから、大学図書館の検索もすべてコンピュータによるもので、しかも検索システムには他の大学図書館や国立図書館のカタログへのリンクも完備しており、これは大いに重宝しました。もっともそのせいか、図書館内のコンピュータにはほとんど常に誰かがとりついて作業中で、なかなか機械を使うことができません。私は自宅からインターネットを使って図書検索をやり、朝になっておもむろに図書館に出かけるというパターンを多用していましたが、これは図書検索だけなら、なにもわざわざ日本から出向く必要はない、ということでもあります。世界中どこにいても同じ情報が手に入るというのは、情報化社会の理想型なのかもしれませんが、私自身日本の大学のカタログにアクセスし、そこにあるものは日本に戻ってからコピーすることにしたりして、自分でも笑ってしまいました。

そして変わらないことといえば、まず街並みはほとんどが昔ながらのたたずまいを残していましたし、大学図書館が部外者に広く門を開いている点もまた、以前と少しも変わっていませんでした。放浪学生が各地の大学を巡っていた時代以来の伝統でしょうか、学外者の利用お断り、あるいは利用には紹介状が必要といった事態に直面せずにすんだのは、やはりありがたいことでした。

最後にひとつ、あちこちで見かけたのが両手のそれぞれ1本指でパソコンを器用にあやつる姿でした。右手はたいいていペンを持ったままで、これでは5本指を使うわけにはいかないのは目に見えていますが、この姿は情報化を頭から拒絶するのではなく、またやみくもにその流れに身を任せるのでもない、ヨーロッパの「大人」を象徴しているように思われてなりません。

(世界経済史・西洋史概論担当教授)

大学院研究発表会

濱 田 英 嗣

大学院(経済研究科)は平成12年4月に設置され平成13年4月現在1年を経過したところです。創設1年を経過したところで、大学院の内容をより広く知ってもらい、また大学院生に研究発表の機会を提供し、修士論文作成の足固めを狙いとして1/13(土)に研究発表会(中間報告会)が開催されました。3氏が発表されましたが、氏名と報告テーマは次のとおりです。

- ・宮田高氏「世界経済のグローバリゼーションとリージョナリズム」
- ・藤井佳代氏「ODAとNGOの連携～効果的なODAの実施とは～」
- ・三浦大二郎氏「“地域通貨”に関する中間報告」

まず、宮田氏は現代世界経済がグローバル化を一方で展開しながら、他方でリージョナリズムを志向するという相反する動きが世界の潮流という認識に立った上で、アジアの域内経済協力の可能性やグローバル化の進展と開発途上国間の経済格差の関係等を今後の研究課題として報告を締めました。藤井氏は効果的なODA実施にはNGOの役割が不可欠という認識に立って、アメリカやカナダ等の事例紹介と共に、我が国のNGO事業補助金が年間10億円に満たないという事実から、積極的な資金提供はもとより情報交換や人材育成という側面からNGO育成を図っていく必要性を協調されました。三浦氏は中央銀行や国家が発行していない、特定の地域・グループ・コミュニティ内の個人・法人間で流通する「地域通貨」が世界各国で急速に広まっていることに着目し、海外の地域通貨タイプ及び我が国の事例を紹介した上で、今後の研究課題として地域商店街活性化手段としての地域通貨や、最終的には下関市における地域通貨実験を目標にしているということで報告を締めました。これら3報告について、指導教員だけでなくテーマに関係する教員等からも質問や助言があり、有意義な発表会となりました。(大学院教務委員・水産経済論担当教授)

教員著作目録 (2000年4月～2001年3月)

- 衛藤吉則：『松本清張氏は、「哲学館事件」(『小説東京帝国大学』)に何をみたのか?』北九州市立松本清張記念館、2000.8、(共著)林忠幸・森川直編『近代教育思想の展開』福村出版、2000.4
- 金尾敏寛：(共訳) Peter Kriesler『カレツキと現代経済』日本経済評論社、2000.5
- 金子 肇：(共著)日本上海史研究会編『上海—重層するネットワーク—』汲古書院、2000.6、(共著)曾田三郎編『近代中国と日本—提携と敵対の半世紀—』御茶の水書房、2001.3
- 肥塚肇雄：『無保険車傷害保険と保険者免責の法理—人的免責条項の法的性質に関する研究—』信山社、2001.3、(共著)「外務員・代理人・仲立人のための保険コンプライアンスQ&A」BSIエデュケーション、2000.8
- 佐藤 隆：白井正敏ほか編『公共経済学Ⅲ』勁草書房、2001.3
- 財部忠夫：(共著)遠山暁ほか編『情報資源戦略』日科技連出版社、2000.4
- 丹下 榮：(共著)佐藤彰一ほか編『西洋中世史研究入門』名古屋大学出版会、2000.4
- 長谷川廣：(共著)池上一志編『現代の経営革新』中央大学出版部、2001.2
- 平岡昭利：(編著)『中部Ⅰ 地図で読む百年 愛知・岐阜・静岡・山梨』古今書院、2000.7、(編著)『中部Ⅱ 地図で読む百年 長野・新潟・富山・石川・福井』同前、(編著)『東北 地図で読む百年』古今書院、2000.12、(共著)『日本歴史大事典 1～4巻』小学館、2000.6、(共著)橋本征治編『人文地理の広場』大明堂、2001.3
- 堀内隆治：(共著)社会政策学会編『社会政策における国家と地域』御茶の水書房、2000.4、(共著)『高齢社会の地域政策』ミネルヴァ書房、2000.8
- 山本興治：(共著)『山口県史 史料編 現代2(県民の証言・聞き取り編)』山口県、2000.6
- 山田留里子：(共著)『南京の陥落』同学社、2001.3、(共著)『馬老師と学ぶ中国語』再改訂版、駿河台出版社、2001.3、(共著)『ようこそ中国語教室へ』改訂版、駿河台出版社、2001.3、(共訳)竹内実監修『南京陥落・平和への祈り』下巻、晃洋書房、2000.5

防止ガイドラインを生かそう

セクシュアルハラスメント防止委員長 下 田 守

昨年7月以来、セクシュアルハラスメント等対策委員会を中心に検討してきた「セクシュアルハラスメント防止ガイドライン」と「セクシュアルハラスメント防止規程」が3月末の教授会で承認されました。

ガイドラインは本学のセクシュアルハラスメント防止についての基本方針を示すものであり、規程は防止や相談などに関連する委員会の構成や任務などを定めたものです。セクシュアルハラスメントは人権侵害であり、この問題は大学が責任をもって取り組まなければなりません。

セクシュアルハラスメント等対策委員会は解散となり、教員と職員の合計10名からなるセクシュアルハラスメント防止委員会が新たに発足しました。また、本学初の相談員6名が新たに任命され、相談専用の電話とメールアドレスも開設されました。

セクシュアルハラスメントと思われる事態が起きた場合は、被害者の意志を尊重し関係者のプライバシーに配慮しながら適切な対応が行われます。相談員は訴えをよく聞いて問題の整理を手伝ってから、相談者の意志に応じて次の手続きを示します。被害者が当事者同士による話し合いによる解決を望むときは調停の、大学に何らかの措置を求めるときは調査の手続きに入ります。調停員や調査委員はその都度任命されます。関係者は当事者の人権を尊重しつつ細心の配慮で臨まなければなりません。

もっとも、互いの人権が尊重される風通しのよいキャンパスになり調停や調査が必要な事件が起きないことが最も望ましいのです。防止委員会は、ポスター・チラシ・講習会などを通してセクシュアルハラスメントの防止・啓発に力を注ぎますが、快適な環境で学習・教育・研究・労働ができるキャンパスにするためには、関係者すべての関心と協力が不可欠です。

防止委員会はこのガイドラインを説明するリーフレットを作成して配る準備をしています。必要な方にはガイドラインと規程のコピーを配りますので、事務局（庶務係）にお申し出ください。ガイドラインは随時見直すことになっているので、お気づきの点があればご指摘ください。

相談員と相談窓口は下記の通りです。心当たりがある場合は独りで悩まずに気軽に利用してください。直接訪ねて来られてもよいですが、なるべく事前に連絡されるようにお願いします。

相談員

教員：横山博司、加来和典、白川春子、田中裕美子
職員：近藤保子（学生部）、兼田むつ子（健康相談室）

相談窓口

電話：0832-53-8166（学生部・近藤保子）
e-mail:harass@shimonoseki-cu.ac.jp

またしても痛ましい交通事故、本学学生が死傷

去る3月12日午前3時45分頃、国道191号線沿いに下関駅方面から伊崎方面に進行中、伊崎町1丁目交差点、西部公民館入口の右カーブの箇所にある道路左側の電柱に、5人乗りの軽自動車（左前部）から激突するという交通事故があった。助手席に同乗していた本学経済学科2年生濱田哲也君（21歳、宮崎県出身、硬式テニス部所属）が頭部を強く打ち、中央病院に運ばれたが午前4時40分に死亡した。また、同乗していた本学経済学科1年生S君も、肩と股関節を骨折して重傷を負った。運転していた下関水産大学生（軽傷）

は、業務上過失致死傷と道交法違反（酒気帯び）の疑いで逮捕された。5人は、同じバイト先の仲間で、バイト先から帰宅中であった。

このところ学生による交通事故が増えている。車の運転にはくれぐれも注意して欲しい。（学生部）

図書館からのお知らせ

平成12年度より平日は21時30分まで開館しています。図書館利用状況は次のとおりです。

●利用者数

	平 日	土 曜	日 曜
11年度	272	115	110
12年度	316	110	105

数字は1日平均利用者数(人)

●夜間利用者数

時 刻	閲覧室	学習・プラザ
19 時	21	4
20 時	16	2
21 時	10	1

数字は昨年1年間の平均値(人)

昨年に比べ平日の利用は増加しましたが、土曜・日曜の利用は減少傾向にあります。土曜・日曜・夜間の利用をもっと積極的に行いましょう。

同窓会だより

下関市立大学同窓会は、会員相互の連絡、親睦を含め、母校の発展に資することを目的として下関市立商業短期大学と下関市立大学の卒業生で組織されています。

全国に15支部があり、毎年各地で支部総会を開催しています。現在の主な役員を掲載しますので活用して下さい。

本 部 会 長	飯田 要(市大1期卒)
	0832-52-0288(下関市立大学事務局)
副会長	榎谷 學(市大1期卒)下関市
	0832-32-7454
副会長	金戸 五郎(短大1期卒)下関市
	0832-66-1686
副会長	原 義治(市大1期卒)東広島市
	0824-23-7660
副会長	山田 堅次(市大1期卒)広島市
	082-581-0226
副会長	柴田 勝利(市大3期卒)長崎市
	0958-27-5692
副会長	藤原 久幸(市大4期卒)加古川市
	078-941-2341
東 京 支 部	(東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県)
支部長	森川 良二(市大3期卒)042-796-4940
中部総支部	(愛知県・三重県・岐阜県)
支部長	梅谷 道明(市大3期卒)052-354-2149
関 西 支 部	(大阪府・京都府・兵庫県・滋賀県・奈良県)
支部長	井上 秀行(市大1期卒)
	06-6441-1931(ダイビル(株))
和歌山県支部	支部長 坂本 喜信(市大2期卒)0736-37-2324
岡山県支部	支部長 前川 淳(市大1期卒)086-526-0078
広島県支部	支部長 清水 賢治(市大1期卒)082-814-2173
島根県支部	支部長 杉原 信之(市大2期卒)0852-24-6276
山口県支部	支部長 榎谷 學(市大1期卒)
	0836-62-1010(麻生)
愛媛県支部	支部長 大西 淳介(市大4期卒)089-984-2742
福岡県支部	支部長 築地 正明(市大2期卒)092-512-4566
大分県支部	支部長 清原 宏(市大1期卒)097-542-4810
熊本県支部	支部長 中村 裕(市大2期卒)096-353-2537
長崎県支部	支部長 鎌田 博(市大2期卒)0957-26-0704
宮崎県支部	支部長 永野 良明(市大1期卒)0985-26-4414
鹿児島県支部	支部長 西元 宏海(市大1期卒)099-248-1976

奨学金は確実に返還してください

日本育英会の奨学金は、卒業生の皆さんからの返還金などでまかなわれています。奨学金に夢を託している多くの後輩の希望がかなえられるよう、奨学金の返還に積極的にご協力ください。

- もよりの金融機関で取り扱っています。
- わからないときは、お気軽におたずねください。

・ 03-3269-4261 ・ FAX03-3269-4824 日本育英会
・ ホームページアドレス <http://www.ikei.go.jp/> ・ E-mailアドレス info@ikei.go.jp

13 年度 予算

大学の平成13年度予算は、12億9,339万2千円で前年度比1,017万8千円の減額となりました。12年度限りの予算の大学院整備業務等719万5千円を除くとほぼ同額です。

- 前年度と違った主な内容としては
- ・情報教育の補助業務に係わる、ティーチングアシスタントの季節雇用
- ・教員研究費の中に、「特定・共同研究用」として旅費、備品購入費、消耗品費を新規に計上しています。
- ・学務事務の電算化を進め、各種証明の発行の迅速化、履修・採点システムの導入等学生サービスの充実・向上を図ります。なお、業務別内訳は次表のとおりです。

平成12・13年度業務別予算

(単位:千円)

区 分	平成12年度	平成13年度
一般管理業務	1,062,385	1,085,823
教員研究業務	38,275	42,515
教務業務	52,136	46,294
大学院教務業務		5,722
センター試験業務	6,352	5,540
学外入試試験業務	6,872	6,525
厚生補導業務	4,376	4,570
留学生支援業務	6,556	6,110
図書館業務	52,392	46,715
ネットワーク・インターネット	10,676	
ネットワーク・情報教育		31,818
産業文化研究所	1,450	1,333
小 計	1,241,470	1,282,965
市民大学講座業務	1,035	1,187
関門地域研究業務	3,000	3,000
大学院整備業務	5,305	
大学院教務業務	5,420	
情報教育充実業務	42,194	
大学事務電算化	3,256	6,240
編入学定員申請	1,890	
小 計	62,100	10,427
合 計	1,303,570	1,293,392

教職員異動一覧

新任教職員

氏 名	担当科目	前 任	着任年月日
大内 俊二 助教授	統計学入門 コンピュータ入門	木更津工業 高等専門学校	13.4.1
衛藤 吉則 助教授	教育原理 社会科学教育法	新見公立 短期大学	13.4.1
ジェームス・S. ローレンスソン 常勤嘱託講師	英 語	グリフィス大学	12.10.1
韓 衛 華 常勤嘱託講師	中 国 語	青島大学	13.4.1
楊 永 志 研究員	中 国 語	青島大学	12.10.1
正 村 豊 事務局長		出 納 室	13.4.1
山 本 隆 係 長		教育委員会総務課	13.4.1
下 田 薫 次 係 長		総 務 課	13.4.1
谷 山 隆 明 主 事		情報システム課	13.4.1
佐々木 映 美 主 事		新 任	13.4.1
古 村 喜 壽 嘱 託		新 任	13.4.1
井 丸 えり 嘱 託		新 任	13.4.1
西之川 真 澄 嘱 託		新 任	13.4.1

昇任教職員

氏 名	職 名	昇任年月日
肥 塚 肇 雄	教 授	12.10.1
金子 肇	教 授	12.11.1
高 田 昭 文	次長補佐	13.4.1
岡 岡 健	次長補佐	13.4.1
松浦 登 美子	主 査	13.4.1

異動教職員

氏 名	担当科目	異 動 先	異動年月日
坂元 康成 助教授	健康科学 スポーツ実践	佐賀大学	13.3.31
ギャビン・D. ハンブリッジ 常勤嘱託講師	英 語	グリフィス大学	12.9.30
李 曉 蓉 常勤嘱託講師	中 国 語	青島大学	13.3.31
重 本 三 朗 係 長		資産税課	13.4.1
福田 純子 主 事		秘書課	13.4.1
岩 本 隆 明 主 事		港湾局工務課	13.4.1

退職教職員

氏 名	退職理由	異動年月日
内 田 正 弘 教 授	定 年	13.3.31
鶴 弘 道 教 授	定 年	13.3.31
末見 隆 英 事務局長	定 年	13.3.31
岡 本 昌 久 参 事	定 年	13.3.31
村 田 元 宏 局次長補佐	定 年	13.3.31
山口 奈 都 子 嘱 託	依頼退職	13.2.6
住 谷 忠 三 嘱 託	任期満了	13.3.31
西 紗 葉 嘱 託	任期満了	13.3.31

行事記録 (2001年1月～5月)

- 1月 4日(木) 公務始め
9日(火) 授業開始
13日(土) 大学院入試説明会・研究発表会
20日(土) 大学センター試験 1/21まで
29日(月) 特別選抜(中国引揚・留学生)入試
30日(火) 秋学期補講 1/31まで
- 2月 1日(木) 秋学期(後期)試験開始 2/15まで
2日(金) 特別選抜(中国引揚・留学生)合格発表
25日(日) 一般選抜前期日程入試(下関・大阪)
- 3月 7日(水) 一般選抜前期日程入試合格発表
8日(木) 一般選抜中期日程入試(下関・大阪・福岡)
9日(金) 一般選抜前期日程入学手続開始 3/15まで
22日(木) 一般選抜中期日程・大学院入試合格発表
23日(金) 一般選抜中期日程・特別選抜(中国引揚・留学生)大学院入試入学手続開始 3/27まで
- 25日(日) 卒業式
- 4月 1日(日) 春季休業開始 4/7まで
8日(日) 入学式・大学院オリエンテーション
9日(月) 春学期(前期)授業開始 健康診断 4/16まで
オリエンテーション 4/10まで
- 20日(金) 履修届提出締切
- 5月 7日(月) 履修確認 5/8まで
11日(金) 留学生歓迎会

平成13年度年間行事予定 (2001年6月～2002年3月)

- 6月 1日(金) 開学記念日
21日(木) 入試説明会
- 7月 6日(金) 春学期(前期)試験時間割発表
14日(土) 夏季集中講義開始
16日(月) 夏季休業開始 8/31まで
- 8月 11日(土) オープンキャンパス
- 9月 3日(月) 春学期(前期)補講 9/5まで
6日(木) 春学期(前期)試験開始 9/18まで
中旬 第1回就職ガイダンス
- 10月 6日(土) 大学院入試(一次)
9日(火) 秋学期(後期)授業開始
履修届締切 10/16まで
15日(月) 大学院入試(一次)合格発表
22日(月) 大学院入学手続開始 10/26まで
- 11月 上旬 大学祭(前夜祭)
17日(土) 推薦入学・特別選抜(帰国子女・社会人)・編入学入試
26日(月) 推薦入学・特別選抜(帰国子女・社会人)・編入学入試合格発表
中旬 第2回就職ガイダンス
- 12月 22日(土) 冬季集中講義開始 1/7まで
25日(火) 冬季休業開始 1/7まで
28日(金) 公務納め
- 1月 4日(金) 公務始め
19日(土) 大学入試センター試験 1/20まで
26日(土) 特別選抜(中国引揚・留学生)入試
29日(火) 秋学期(後期)試験時間割発表
30日(水) 秋学期(後期)補講 2/1まで
- 2月 1日(金) 特別選抜(中国引揚・留学生)合格発表
5日(火) 秋学期(後期)試験開始 2/18まで
25日(月) 一般選抜前期日程入試(下関・大阪)
中旬 第3回就職ガイダンス
- 3月 7日(木) 一般選抜前期日程入試合格発表
8日(金) 一般選抜中期日程入試(下関・大阪・福岡)
9日(土) 一般選抜前期日程入学手続開始 3/15まで
16日(土) 大学院入試(二次)
22日(金) 一般選抜中期日程・大学院入試合格発表
23日(土) 一般選抜中期日程・特別選抜(中国引揚・留学生)・大学院入学手続開始 3/27まで
25日(月) 卒業式

編集後記

「字数が少ない」と執筆者からのお叱りを頂いている。なるべく多くの記事を取り上げるための措置だが、それでも次号送りになった原稿があることをお詫びしたい。なお、来見田前局長の退職によって正村局長が、在外研究の櫻木教授に代って佐藤助教授が今号から新しく編集委員として加わった。

(谷口)